



### 3月定例会一般質問通告一覧表

個人質問													代表質問	
2 1	2	1	1	1	1	1	2 1	2 1	1	2 1	1	1	2 1	1
学童保育の現状と課題について 文化芸術振興の取り組み・文化協会のかかりについて	「筑後小郡インター周辺まちづくり構想」並びに「小郡鳥栖南スマートインター周辺まちづくり構想」について 第2次小郡市食料・農業・農村基本計画について	重層的支援体制の構築について	人材育成について	小郡市の産業構造の10年前と現在について	誰一人取り残さない地域共生社会について	個人情報保護と地域福祉活動の推進について	三井消防署建て替えと署員定数について 市の地震対策と対応について	小郡市こどもの権利条例の制定の意義について 給特法改正による学校の働き方改革について	自治会加入の促進について	小学校への冷水機導入について 緊急通報システムの見直しについて	組織機構見直し・係制廃止・グループ制導入について	小郡市における財政状況の現状と将来の見込みを問う	宝満川左岸地域の人口減対策・地域振興について のーと小郡について	施政方針や市の取り組みについて
大場 美紀	立山 稔	田中 雅光	後藤 理恵	佐藤 源	川野 悦子	黒岩 重彦	小野 壽義	新原 善信	深川 博英	甲斐田典彦	橋間 順平	高木 良郎	自由の風 佐々木益雄	みらいの会 山田 忠

一般質問の記事については、議場での発言に基づき、質問者（議員本人）が要約して編集したものです。  
会議録については、令和8年6月上旬頃より議会ホームページのほか、議会事務局、各コミュニティセンター、図書館で  
ご覧いただけます。



みらいの会  
山田 忠



**議員**  
施政方針や市の取り組みについて問う

**市長** 移住定住策では、つながるまち小郡の実現こそが交流人口、関係人口の増加、



自由の風  
佐々木益雄



**議員**  
宝満川左岸地域の人口減対策を問う

**市長** 環境整備と併せ、持続可能で賑わいのある地域再生を目指していきたい。

そして移住定住の促進につながるかと考える。第三の学び場づくりでは児童生徒が心のエネルギーを充電できる場所として構想を進めている。子育てに良いまちづくりでは、教育を市のアピールポイントと考えている。

**未来を拓く力を育む教育では具体的にこどもたちのどんな姿を目指すのか。**

**教育長** 一つには、目標に向か

**国の取り組みである地方創生伴走支援制度とは。**

**部長** 国の職員が各地域に出向き地域の実情に応じた解決と一緒に取り組む制度。

**市のオンライン会議や現地訪問活動の実施内容は。**

**部長** 会議7回、現地訪問3回意見交換を行い、支援官が感じた提案がされている。

ってたくましく進もうとする姿、二つには、人とつながり合って学び合おうとする姿、三つには、ふるさと小郡を大切にしたいという郷土愛を高める姿を目指す。

**豊かなこども・子育てに各自治会や学校との情報の共有化は図られているか。**

**部長** 小中学校すべての学校で学校運営協議会を設置し、地域と共にある学校づくり

**農地に関係なく企業誘致や住宅建設など、地域未来投資促進法の活用は。**

**副市長** 多様な課題解決、制度設計に取り組んでいく。

**議員**  
のーと小郡について問う

**市長** 運行事業者と連携を図り、素早い改善に努め、利用者のよりよい公共交通サービス提供に取り組む。

を進めている。

**学校から地域に対して協力参加の要請をした場合に市はどのようなサポートをしているか。**

**部長** 地域学校協働活動推進員が中心になって学校と地域をつなげている。

**不登校対策協議会では、校内教育支援センターの成果をどう分析しているか。**

**委託料が高くなっているが、のーと小郡に変更したことで成果と課題は。**

**部長** 運行範囲に隔たりがなく、広く市民に移動サービスを提供できている。課題は、希望する時間帯に予約ができない、予約方法でアプリなどの心理的なハードルが高いなどがある。

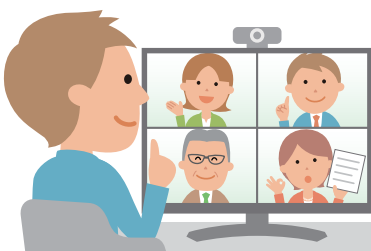
**高齢者の手続きや利用方法などのアドバイスは。**

**部長** 不登校者数、不登校兆候が見られる児童生徒数は減少傾向にある。



校内教育支援センター（小郡小）の様子

**部長** 職員が出向き各校区の集まりや一般の方への説明会、SNS、HPへ掲載。





自由の風  
高木 良郎



議員  
小郡市の歳入・歳出  
の課題を問う

部長 人件費・物価・扶助費  
などの社会保障費も増大し  
歳入・歳出は増加傾向だ。

現在の市債残高を問う。

部長 現在195億6千万円  
を見込んでいます。

給食センター建設運営の総  
額、起債、借入額の総額と  
利率を問う。

部長 総額は49億7千万円で  
利率は3.5%である。

令和4年の説明は34億4千  
万円だった。物価上昇で最

後は54億円になるか。

部長 検証はしていない。

更に金利も上がるのでは。

部長 その可能性を前提とし  
て事務を進めていく。

体育館建設費が30億円から  
現在に至る経緯を問う。

部長 平成29年に6千㎡30億  
円で計画、現在61億円。

体育館入札不調で建設費用  
も70億円を超えるのでは。

部長 試算していない。

庁舎建設で筑後市を例にと  
ると土地なしで百億を超え  
る事業費であり小郡市では  
120億を超えるのでは。

部長 まだ検討していない。

庁舎入れて約250億円の  
借金が増えるのでは。

部長 各施設の事業費として  
は、そのような形になると  
思う。



借金まみれになった時に、  
市民生活は大丈夫だろうか



自由の風  
橋間 順平



議員  
組織見直しとグルー  
プ導入を問う

市長 実効性のある組織体制  
の下で具体的な事業を推進  
し、結果が出ている。業務

量が年々増大し、限られた  
人員で効率的な組織運営や  
職員の働き方の環境整備に  
向けて係制を廃止し、グル  
ープ制を導入する。

組織を見直す目的や、組織  
構造と経営戦略の運用改善  
メリットについて尋ねる。

部長 組織を見直して、機構  
を改革することはやらなく  
てはいけない。期間は分か  
らないが、人を充てて、目

的を持って事務を行ってい  
く。

組織のスリム化と外部委託、  
DX、行政事務委託につい  
て尋ねる。

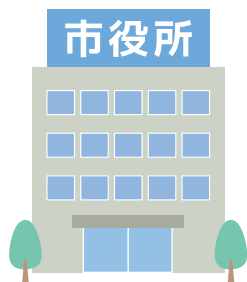
部長 外部委託は、窓口業務  
を皮切りに業務を拡げたい  
く。行政事務センターにノ  
ンコア業務を外部委託する。

DX、RPAを使って行政  
事務を自動化して、申請の  
事務処理を軽減する。ノン

コアとコアを大別し、どの  
ような業務を委託できるの  
か、時間をかけて仕分けし  
具体的に選別を進めている。

グループ制は責任の曖昧性  
があり、中間管理職の負担  
が大きいと思われるがどう  
考えるか。

副市長 グループ制は、業務を  
グループとして、課内の中  
で、共有する考え方だ。課  
の業務はみんな分かち合



心理的負担を掛けない組織改革

い、全員で対応できる。不  
在者がいても、業務は一定  
充足で進めようと思う。



公明党  
甲斐田 典彦



**議員** 小学校へ冷水機を導入できないか

**教養長** 衛生管理、費用面の効果、課題を調査研究。他自治体の導入状況を注視検討。



みらいの会  
深川 博英



**議員** 自治会加入促進について問う

**市長** 自治会加入に関し様々な課題があることも把握している。加入促進のため、

現段階で検討の内容を問う。

**部長** 県内は設置が進んでいない。設置の学校は企業版ふるさと納税の活用、企業との協定締結など様々な手法で設置事例を調査中。

設置で大きな水筒持参は不要。他市で児童が水筒持参で転倒し事故が発生。本市では事故の事例はあるか。

**部長** 事故の事例はない。

全校一斉ではなくモデル校で試験導入できないか。

**部長** 熱中症対策として設置は有効。どういう形で試験導入できるか検討する。

**議員** 緊急通報システムの見直しについて問う

**市長** 固定電話回線がなくなっても利用できるサービスの検討が必要。新しい技術、機能を調査し高齢者の家庭内での安全・安心を確保する

様々な取組みを検討する。

システムの仕組み・対象者・設置者数は。

**部長** 自宅に設置した機器のボタンで、緊急時にコールセンターへ通報し会話ができる仕組み。65歳以上の単身・高齢者世帯で疾病、見守りが必要な方。10名。

携帯型緊急通報システムの導入はいつ頃までに検討か。

小都市の自治会の加入率は。

**部長** 現在、把握できてない。

自治会の加入率を把握しておくべきでは。

**部長** 今後の自主活動も含め、地域福祉活動など多くの内容を検討する上で、市としても、一定把握する必要があると考えている。

自治会に加入していない場合

**部長** 令和9年度中までに結論。



緊急通報システムイメージ

動を、より知っていただけるようなことを進めていきたい。





新原 善信



**議員** こどもの権利条例制定の意義は何か

**市長** こどもは権利の主体であることを周知し、こども施策の基本理念となる。

大事にしたことは何か。

**部長** こども・若者の声を織り込み、わかりやすい表現にした。

どんな声があったか。

**部長** 自分のことは自分で決めたい、もっと意見を聞いてもらいたいなどがあった。

遊ぶ権利、休む権利の状況はどうか。

**部長** コミュニティの希薄化などで遊ぶ、休む環境は十分ではないと考えている。安心して遊べる居場所づくりを推進していく。

**議員** 給特法改正で講ずべき措置は何か

**教育長** 業務量管理・健康確保措置実施計画の策定を進めている。

法定休憩時間の取得状況は。

制になったが。

**部長** 消防本部で策定した定員管理計画で年次的に増員している。

**議員** 市の地震対策と対応は

**市長** 去年10月に福岡県が地震に関する防災アクセスメント調査の結果が公表され、警固断層の最大震度が7に変わり、既に大規模震災対

**部長** 十分取れていない場合があると認識している。

持ち帰り仕事の内容は。

**部長** 授業準備にかかわるものが多い。

指針ではどうなっているか。

**教育長** 原則あつてはならないとなっている。

進捗管理検証はどうするか。

応ガイドラインの作成に着手している。併せて地域防災計画見直しを進めている。

避難所の運営、設営は。

**部長** 地震避難所は市内に28ヶ所あり、長期避難に備えて環境改善を進めている。

震度7の地震で橋が崩落する可能性を考え、災害備蓄品を市内宝満川の東側、西側にある倉庫に分散しては。

**教育長** 毎年達成値を確認しながら、目標を目指していく。



こどもの遊び育つ権利



小野 壽義



**議員** 三井消防署建て替えと署員定数は

**市長** 久留米広域消防本部が令和9年竣工予定で進め、訓練研修施設、資材備蓄倉

庫機能を有した庁舎整備により、防災体制の充実強化が図られる。また、女性専用浴室やトイレ、更衣室が設置され女性職員へ配慮した環境整備が行われる。

三井消防署の名称変更は。

**部長** 所在地である小郡消防署を提案している。

三国出張所が1名増の6名になり、3名3名の専任体



建て替え中の三井消防署

**部長** どんな状況にも耐えられるように、分散備蓄する場所と量は判断していく。



みらいの会  
黒岩 重彦



議員  
個人情報保護して  
の地域福祉活動は

市長 本市における地域福祉活動の中で、個人情報提供しているものとして、高

齢者の見守り活動や災害時の避難支援などがあり、本人合意の下、対象者の個人情報を取引として整備し、地域内の見守りのために、必要に応じて関係機関と情報共有を行っている。

情報の共有化をどのように進めているのか。

部長 見守り活動に必要な範囲内で必要最小限度の共有を条件に、本人から同意し

ているものについて、その同意の範囲内で共有化している。

見守り支援台帳の現状と課題は。

部長 見守り支援台帳の対象者が7千名近くいる中で、個人情報の同意を得た方が32%しかないのです、今後、活動をアピールして、同意を得られるよう努めていく。

個別避難計画の現状と課題は。  
部長 作成率は約1割程度に留まっているので、防災リーダーの養成など自主防災組織の活動を活性化させて個別避難計画の作成率を上げていきたい。

市長 情報も大事だが、日頃からのつながりや託すこと

ができる地域の方を作り、両面一緒に努力していく必要がある。



個人情報の保護と活用のバランスが大事な地域福祉



おごおり創志会  
川野 悦子



議員  
重層的支援体制整備  
事業の方向性は

市長 参加支援や地域づくりに向けた支援について、さらに力を入れて取り組んで

いくとともに、地域共生社会の実現に向けて本事業の制度の充実を図り、制度設計を進化させていきたい。

参加支援に繋がったケースはあるか。

部長 多機関協働事業では、参加支援の実績はない。

参加支援につなぐ役割は十分に果たしていないという認識でよいか。

部長 国が定めている形ではできていない。

居場所づくりは、支援の方向性をどう考えているのか。

部長 既存の社会資源、地域資源の拡充や地域での多様な居場所づくり、新たな地域資源の発掘などを今後も進めていきたい。

重層的支援体制整備事業は、市民の生活に直結した大事

な役割だ。しっかりと仕組みを構築できないか。学ば場として機能させながら相談にも来てもらい、既存団体は、これまで通り繋いでいただき重層的支援の会議につなぐ形にしていくことの考えは。

部長 意見を参考に今後、組立てについて検討したい。

具体化できるよう、第一歩として小規模でやっていき、できることから広げ、大き

くしていくことを念頭に内容を参考にしていきたい。



支え合いが広がるまちづくりを!



おごおり創志会  
佐藤 源



議員 産業構造の変化をどう予測しているか

市長 優良農地を生かした農業を基本に、交通の利便性の高さを生かした物流のみ

ならず、製造業系や先端技術系の誘導、さらに、まちのにぎわいや雇用を生み出す民間の力を招き入れることで、調和の取れた産業構造を目指していきたい。

10年前と比較して就業人口はどう変化しているか。

部長 令和2年の国勢調査によると、就業人口が2万8936人、第三次産業が全体の79%で2万3027人、

二次産業が16%で4851人、一次産業が4%で1058人。10年前と比較すると、就業人口は増加しているが、構成比率としてはほとんど変化が無い。

前回質問したとき、第六次産業を今後は増やしていかないといけない、小郡市の目指すところはその辺りもある。ということだったが、なかなか目に見えてこない。どうなっているのか。

部長 六次化に結びつく新たな特産品が出るような取組ができていくという状況はない。

部長 毎年度、予算を計上して取り組んでいる。全国的に有名な産物ができたかと言えば、それはないと思うが、こういう取組を継続し、小郡市の特産品と言われる

ような物ができてくるように支援していきたい。



みらいの会  
後藤 理恵



議員 人材育成基本方針策定の目的や根拠は

部長 地方公務員法の第39条第3項に基本指針を定めるものとし、またその1項に

は、職員の勤務効率の推進や発展という形で研修を受けさせることが明記されている。本市は平成14年に策定している。

針という名称に変わり、人材の確保、職場環境、そしてデジタル人材育成確保が変更点になっている。

職員のリフステージに合わせられるような勤務体系を今後検討していく必要がある。

にやれるポイントであり、意識を持ちながら、大事に職員を育てていく。

国から新たに出された策定指針の特徴は。

部長 これまでは人材育成基本方針の策定指針は技術的支援という形で出されていたが、令和5年には、人材育成・確保基本方針策定指

働きやすい職場の雰囲気を整備については。

部長 これまで問題となっていた長時間労働勤務をどう改善するかは大事な部分である。また、職場環境に大きく影響する職場内のハラメントの対策、さらには、

今後、機構改革において、人材育成専門部署の設置については。

市長 重要性は認識しており、まさに人材は、コストではなくて投資である。人を確保できるかどうか、行政サービスを安定的に、継続的





公明党  
田中 雅光



**議員**  
重層的支援体制の構築について問う

**市長** 社会の実現に向けて包括的な支援体制を整備するため、重層的支援体制整備

事業を開始した。生活困窮やひきこもりなど様々な課題を抱えた方々への支援を各相談支援機関で連携しながら取り組んでいる。

**福祉総合相談窓口の設置について問う。**

**部長** 福祉総合窓口については、有用だと考えている。市民が相談しやすい環境をつくっていききたい。

**重層的支援体制整備事業の実施計画を作る予定はないのか。**

**部長** 具体的な内容や時期については未定だが、他の自治体を参考にしながら、計画を作る方向で検討を始めた。

**対象者の実態調査について何度も提案しているが実施しないのか。**

いて、地区計画制度を活用した物流施設の計画が現在、進んでいる。

**副市長** 実態を把握しなければ、何をすべきかというところに行きつかないので重要性は認識している。有効性や法的問題など、調査研究なので少し時間がほしい。

**コミセンの生活支援コードイネーターの位置づけが分かりにくいがどうか。**

**副市長** 重層的支援事業が始まったとき、コミセンとコミセンの職員を位置づけस्ता

ートしたが、事業との関係が本来の目的と異なるので今後整理していきたい。



よりも冠水状況がひどくならない対策をきちんとしながら進めていきたい。



おごおり創志会  
立山 稔



**議員**  
インター周辺まちづくり構想は

**市長** 構想は、まちづくりゾーン、生活にぎわいゾーン、新たな魅力創出ゾーン、面

**筑後小郡インターチェンジ周辺で、農業共生ゾーンの動向について問う。**

的整備推進ゾーン、農業共生ゾーン、交流ゾーンの6つのゾーニングによる計画的な土地利用を設定している。

**他のゾーンで、現状で開示できる情報があれば、教えていただきたいが。**

**部長** 立石中学校北側のエリアで、定住人口の受皿となる住宅開発の計画が進められている。計画面積が約5

ヘクタールで、住宅の数が約150戸予定されており、

**小郡鳥栖南スマートインターチェンジ周辺まちづくり構想では、以前、全体で20ヘクタール程度の調整池をつくる計画を見せてもらったが、進捗状況はどうなっているか問う。**

**部長** 調整池に関しては、小郡市の独自基準を設けて、なるべく現在の集落に、今



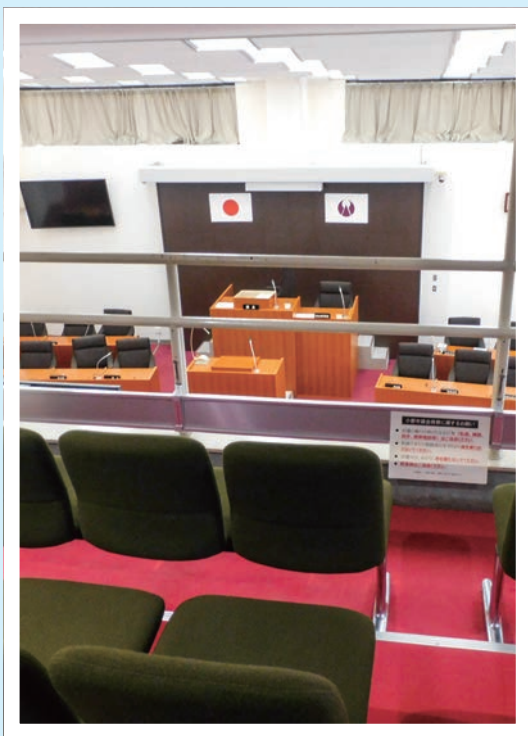
# 小郡市議会予算・決算審査特別委員会のインターネット中継が始まります。

小郡市議会では、本会議の他、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会を傍聴することができます。

また、小郡市議会のホームページから、本会議（過去5年間）及び常任委員会の生中継・録画映像がご覧になれます。

令和8年9月から、予算・決算審査特別委員会の生中継もご覧いただけます。

ぜひ、ホームページで生中継・録画映像をご覧いただき、皆さまのお声を聴かせて下さい。



おごおり創志会  
大場 美紀



**議員** 利用増加に伴う学童保育の現状と課題は

**市長** 通年保育、長期休暇のみ保育、ともに待機児童が発生する見込み。支援員の

確保を図り、学校の活用について、学校と連携し待機児童解消に努める。

アンケートをどう反映しているか。

**部長** いじめの早期発見や環境改善、本や遊具の更新・新調などを実施している。

夏場の弁当の管理法は。

**部長** 保冷剤を入れて持参。

さらに、エアコンが当たる場所で保管している。

給食や宅配の導入は。

**部長** 他自治体を踏まえ検討。

**議員** 市民文化祭の新たな取り組みとは

**部長** 一般募集と文化協会加盟団体の発表の期間を分けて実施予定。11月7日から15日にかけて実施することを計画している。

文化協会をパートナーとして、市はどのような役割分担をしているのか。

**部長** 地域に根差した活動を担う、文化振興の重要なパートナーであり、共催事業を通して、実演や普及啓発等の役割を担っていただいている。

なくなった施設使用料の減免など、再検討できないか。

**部長** 受益者負担は理解いただきたいが、文化振興につながる催しは検討したい。

